新月灯花新聞

第五号
発行日：12月1日
不定期発行
責任編集：新月灯花

福島第一原発事故がまったく収束していない中で、大間原発（青森）の建設再開が始まった！

「大間原発」と「あさこはうす」

青森県下北郡大間町。この町に原発建設が決まった1984年から、どんなにお金を積まれても、どんな嫌がらせを受けても、たった一人で反対し続けた人がいます。それが**熊谷あさ子**さんです。

「津軽海峡の海は守るんだ。この自然と土地を大事にして生活していけば、人間どんなことがあっても生きていける」

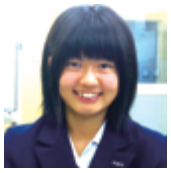
「こんな危険なものを将来を担う孫たちに残したら駄目だ」

それがあさ子さんがたった一人で反対し続けた理由です。あさ子さんが亡くなられた後も、娘の厚子さんが意志を引き継いで闘っています。今も原発建設地から250メートルしか離れていない場所にあさ子さんが居た通称**「あさこはうす」**があるんです。

2012年10月1日、工事再開となってしまった大間原発。新月灯花は大間に行って、この目でちゃんと事実を見て、声を届けてきたいと思います。

高野 桜さん（福島県立小高工業高3年　18歳）

「あさこはうす」の話を聞いて励まされました。



原発事故を受け、高校生平和大使に志願。長崎の平和祈念式典やジュネーブの国連欧州本部で、原発事故や核兵器による被害を起こさないよう訴えた。甲状腺検査でシコリが発見され、不安を抱えながらも平和大使としての活動を続けている。

私は今、原発事故により避難生活をしています。その中で、**自分の意志を強く持って生きていくことがいかに素晴らしいことか**を実感しました。これからも自分の意志を持って、頑張ってください。「あさこはうす」の話を聞いて励まされました。私も頑張ります。

PANTAさん（ミュージシャン）

伝説のロックバンド「頭脳警察」のボーカル。数多くの放送禁止ソングを持つ。
http://www.brain-police.com/

大間原発はそれだけで世界を壊滅させてしまう最終兵器です。そんなものを、**一握りの連中の利権や目先の金などで稼働させてはなりません！**「あさこはうす」は日本の、そして世界の良心です…地元も含めみんなで支えて欲しい。来年は自分もハウスで演らせてもらおうと思っています♪

FRIDAY副編集長 押田さん

反原発の立場をとる写真週刊誌「FRIDAY」
http://p.friday.kodansha.ne.jp/pc/

政府がゴリ押しする大間原発の是非を考えるにあたって、大間の方々だけでなく函館市の住民の方々も声を上げているのは重要な「力」です。事故が起きれば津軽海峡は甚大な被害を受けざるを得ません。

山口県の上関原発も30年以上反対運動を展開し、今年一定の成果を上げた。これは凄いこと！

東京発のメディアは、移り気なところがあるのは否めません。**地元発の地道な運動こそが、世の中を変えていく本当の力になる**のだと思います。

東日本大震災以降、地方、地元の力は、取材していていつも感動します。

三ヶ田圭三さん（いわきSONIC 店長）

福島県いわき市のライブハウスSONICの店長。ローファイパンクフォークバンド、「あぶらすまし」で活動中。
http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=abrsms

大間のみなさま、福島県いわき市で暮らす三ヶ田です。出身は秋田県鹿角市。青森に近いところから16年前福島に移り住みました。今福島で暮らしていると、今まで考えてこなかった問題にぶち当たります。こんな風になってしまうんだな、あの時は原発の前を車で通り過ぎてもなにも感じていなかったな、とも思います。そして、今現地に赴いてくれる人達をとてもありがたく思っています。やはり、**実際来てもらわないと伝わらない事ばかり**です。なので、私も大間に行きたいと思っています。

秋田に戻る機会が震災後とても増えました。子供の保養のためです。僕が大間に行くことはさほど難しい事ではありません。そのときは、話をさせてください。よろしくお願いいたします！

特集!! 福島の女子高生の本音

現場の声はリアル。特に未成年の声はすごい。

未成年は選挙権がない。選挙権がないということは選択肢がないということ。否応なしに、大人たちが勝手に選んだ世の中で生きていかなければならない。威張り散らした大人が自分の都合で作ったシステムで、子供たちはいつも傷つけられる。この原発事故がまさにそう。

未成年は、純然たる被害者だ。堂々と文句を言おう！

私たち大人は、もっともっとこの声を真剣に受け止めるべきなのではないでしょうか？

ていうか、受け止めろ！

高野桜ちゃんに会ってきた！

長崎の平和式典に、福島の女子高生が参加したというニュースを見て「会いたい！」と思った。さっそく学校に電話してなんとか会えるようになった。そして仮校舎で、桜ちゃんと対面。始めは先生も居たせいか、お互い緊張してたけど、徐々にリラックスムードに。

震災前まで東電への就職を希望していた高野さん。これからどんな大人になりたいですかと聞いてみると

「作業員の人たちはすごく頑張ってくれているけど、上層部の人たちは信用できない。今は、先生になりたいです。小高工業高校の先生はどんなに遠くから通ってきてても疲れた顔は見せないし、いつもちゃんと親身になってくれる。そんな先生になりたいです。」

と、語ってくれました。

平和大使で、生徒会長！っていうと堅い印象っぽいけど、大好きな東方神起の話をする桜ちゃんはキュートな素顔の女子高生でした。

桜ちゃんは甲状腺検査でシコリが発見されてしまいました。不安だと思うけど、頑張って！

ライブで会った女子高生のホンネ！

さいちゃん（17歳）

※イラスト　山崎優子

スラリと長身で、クール！マッシュルームカットが似合うオシャレな女の子。

原発事故で、私たちはこれからどうなるのかとても不安です。それでも、**いつどうなってもいいように「今」を楽しく生きていようと思います。**

きょうかちゃん（16歳）

ヘンテコ柄のリュックと、アイドル級の可愛さがミスマッチ！変な空気を醸し出してる不思議JK。

学校で4月に行われた尿検査では、ほとんどの生徒からセシウムが検出されたと話してくれました。

私は検査で体内から放射線反応が出ました。

他県のライブハウスに行ったときに**「福島の女か…近寄んな」**と言われたこともあります。

けれど、私も前に進みたいと思い、バンドを続けています。こんな事があったからこそ、音楽の大切さを知れました。

※他にも、一緒にカラオケ行った女子高生YDとは、超リアルなガールズトークで大いに盛り上がったりしたが、ここには書けない！

女子高生と放射能

桜ちゃん。きょうかちゃん。いつも会ってる小6のナナ、みんな放射線反応が出てます。

なんてことだ！**彼女たちは、なんでこんな不安を抱えなければならないんだ！**

いいですか皆さん。これが、この不安が福島の原発事故のリアルです！

絶対、忘れないでください！

ある老人は、『技術（原発）を放り出すのは愚か』と言ってました。しかし、技術や経済性能に執着することこそ愚かなのではないでしょうか？

再稼働や建設再開を口にするにしても、この子たちの安全が完全に確認出来てからではないでしょうか!?